

受験者の言語能力に対する 【実例報告】

※ 【月報】を発行することに、弊社には受け入れ機関から、「受験者対応の悩み」と、「受け入れ機関の悩み」などが相談として全国から多く届く。そこで、これらの相談内容を考慮しながら、具体的な事例を挙げて、諸問題の解決の糸口になれば、【読者の悩みの解決策】になると考えて、具体的な事例を紹介することにした。

※ 紹介内容は、「到達度試験参加前の受験者の状況」と、「対応する日本人職員が受けた印象」、それから、「到達度試験に参加した3か月後の変化」と、「6か月後から始まったスカイプ授業の受験者の変化」と、「学習意欲の変化」について、できるだけ詳しく報告したい。但し、個人情報に関わるものなので、所在地、並びに受験者名は伏せる。

I、【到達度試験】参加前の受験者の状況

- 入国して2年間も過ぎており、この間、2回国家試験を受験したが、不合格だった。そこで、「10分間テスト」を受けさせて【テスト結果と考察】を読み、受験者の言語能力の無さが判明した。結果は日本人の7歳児レベルだったが、10分間の試験時間を24分かけて解いたために、その評価は、半分とみなさなければならなかった。
- 母国と来日後の日本語教育の効果は、ほとんど見受けられず、「言語障害状態」であったために、2年間毎日続けた専門語彙と専門知識が、ほとんど理解できていなかったことが判明した。
- 日本語力が無い段階から、「専門領域の学習」をさせても教育効果は上がらず、無駄な時間と労力を費やしただけになることが初めて分かった。

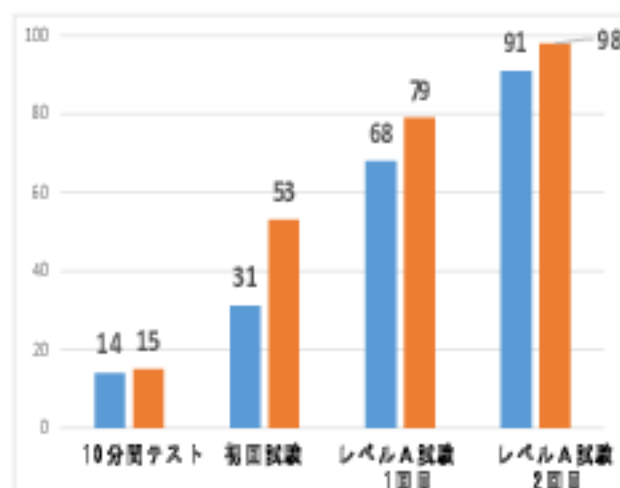
II、【到達度試験】に参加した3か月後の変化

- 右表は、【到達度試験】参加前に受けた「10分間テストの結果」と、参加後、初日に受けた【初回試験の結果】を表して比較できるようにした。そして、参加1か月後に受けた【レベルA試験の結果】は、合格の75%に到達できなかったために、2か月後【2回目レベルA試験再試験結果】とを比較したもので、到達度を棒グラフ化したものだ。
- 2年間、専門語彙を意味不明のままに学習しても、言語能力は決して向上しない。また、受験者にとって毎日3時間の学習は、意味理解が十分でないために、「学習意欲を失わせる原因」となる。だが、「数値で到達度が見える」と意欲は増大した。

<対応する職員が受けた印象>

- ① 仕事上で、「はい、わかりました。大丈夫です。」というために、分かっていると思い込んでやらせたら、全然違うことをして、仕事が混乱してしまった。
- ② ①のような状態が続くので、彼女たちを信じていたが、仕事をやらせる上では信じられなくなって、仕事を任せられなくなった。だから、必ず、仕事をダブルチェックしなければ、安心できなくなった。
- ③ 前から二名に日本語力の差があると思っていたが、「10分間テスト」の結果を観ると、やはり差があったことが客観的に分かり、できない受験者の対応ができるようになった。

表、【3か月間の言語能力向上の推移】



Ⅲ、6か月後から始まったスカイプ授業の受験者の変化

※ 「基礎言語能力」を習得した後に、【対面式のスカイプ授業】を受けると、最大の特徴である「聴解力と対話能力」が飛躍的に伸びたことだ。

そして、受験者と教師の表情が相互に読み取れるために、「心情表現力」をも習得でき、母語者に近い対話力を身につけることができるようになった。

以下に【実例報告】を基に、言語能力別に紹介する。

①（用法力） 文字の用法に対する理解力

◆ スカイプ授業では、テキスト読みを基に「文字に対する瞬時反応力」を、重点的に厳しく養う。

当初は、受験者の読み速度が遅く、時計で速度を計りながら、制限時間内で読めるように指導した。

多くの場合は、2回目で1回目の半分の時間量で読みこなせるようになった。

そのことにより、受験者は日本語文字に対する自信がつき、また、「日本語文に対する読み方」が流著になり、その「流著さ」が発話にも良い影響を与えて、対話能力を向上させることになった。

◆ さらに、ストーリー性のあるテキストを使ったために、「ひらがな・カタカナ・漢字」の使い分け方を読み練習の中で視覚的に理解させた。その結果、【日本語の文字の用法】を身につけることができた。

②（読解力） 助詞の意義に対する理解力

◆ 「読解力」を養うために必要不可欠なことは、「助詞の意義を正しく理解させる」ことだ。

スカイプ授業では、受験者が疑問のある助詞の使い分け方に対して、教師はボードを使って、助詞の意義を図式で表すために、意義理解力が深まった。

③（構文力） 文と文の繋がりで文脈を理解する力

◆ 日本語文には単文・重文・複文があるが、それらを使って文脈を通じた中文・長文化するためには、接続詞に対する理解と用法力を養わなければならない。

◆ スカイプ授業では、学習者との対話の中で接続詞を使いながら、「話脈」を通じさせながら対話すると同時に、テキストの中文・長文を音読練習することで、接続詞の意味を理解させ、構文力を高める学習をした。

④（対話力） 「話脈」に対する理解力

◆ スカイプ授業の特徴をいかして、教師は対話内容をボードにまとめて、それをチャート図式化し、「話脈力」を養った。また、熟語漢字を分解する方法を視覚的に理解させ、「漢字分解法」を教え、自学力を高めた。

＜対応する職員が受けた感想＞

- 【到達度試験】に参加して、テキストNO 1を受験者に読み練習させたが、簡単な内容の日本語文を読めないことに驚いた。今まで2年間も専門語彙や知識の学習指導をしていたが、このような日本語力では全然理解できていなかったことに、改めて衝撃を受けた。
- さらに、副教材の「カタカナノート」を学習した時、問題文の中でのカタカナ文字が読めないことにビックリした。この時点で、カタカナ文字は当然読み書きできるものと信じていたのに、全く言葉も無かった。
- 2年間もの間、受験者が漢字だけではなく、カタカナ文字ですら読み書きできないとは信じがたいことで、当然のことながらできるものとして対応していたので、受験者の言語能力をあまりにも知らなかった自分を、深く反省している。
- 表面だけでの判断は、いかにいい加減で間違っているかを、【到達度試験】に参加して気づかされた。マークシート方式の学習では、受験者の頭の中が見えないために、本当の言語能力が把握できないことに気づいた。さらに、暗かった受験者の表情も明るくなって、学習意欲が出てきた。

Ⅳ、受験者の学習意欲の変化

- ★ スカイプ授業は、「対面式」で学習できるために、双方の表情が瞬時に読み取れる。受験者が理解不十分な場合には、自らが気づくように指導をすることで、確実に理解度を高めていくことができた。
- ★ 受験者は関心事が強い分野においては、積極的に質問を多くするようになり、また、職場での職員に対する質問も、授業開始前と比べて各段に増え、語彙の習得量も増大するようになった。
- ★ スカイプ授業では、具体的な自学方法を教えるために、自宅学習量が多くなった。

「施設の声」

日本語力が無いために、手を焼く職員！！

- 去年の12月に入職して、既に半年間も経つのに、言葉の意味がどこまで理解できているのかが、分からない。
未だに、身振り手振りを加えて会話をしても、こちらの言うことが分かっていないことが多い。
- 日本語の勉強でもそうだが、本当によく分っているのかどうか、教えている側は判断できない。
なぜならば、受験者はすぐに「分かりましたとか、大丈夫とか等」で返事をするために判断できない。
- 仕事で、「何何を何何しなさい」と指示すると、「はい、わかりました」と返事をするので、理解できたのだと思っていると、「やっぱり正しく指示通りにできていない」ということが、非常に多い。
指示した仕事ができなかったら、「やはり指示した日本語が正しく理解できていなかったんだな」と改めて知ることが、日常茶飯事だ。
- 日本人職員の指示する日本語も十分に理解できないし、与えた仕事も正しく行えないことを考えると、本当に外国人には手を焼いて職員の苦労が多くなるばかりだ。
この状態を何とか変えたいために、本部に相談したが、現状のままでいくと言われた。

(愛知県・T施設)

3年間経っても意思疎通ができない受験者！

- 受験者は勉強になると、頭が痛いのだ、勉強が大変だの色々と言い出す。来年受験予定だが、国家試験対策は、とても順調だとは言えない。
- 既に入職して3年も経っているが、十分な意思疎通が日本語で未だにできない。施設としては出来る限りの学習を支援してきたが、受験者自身の日本語力が無いために、日常生活や職場などでの意思疎通が十分ではなく、とても労働力の一員とは成り得ていないのが、実態だ。
- この実態をみると、来年の試験結果は当然、不合格になるだろうと、既に職員は諦めている。
そうなのでもまあ、仕方がないかなと思いながら職員も対応している状態がずっと続いている。

(愛知県・A施設)

言語技能別評価にビックリ！！

- 初めての受け入れなので、日本語の先生に指導を任せているが、どの程度をもって順調と判断していいのかが、職員には分からない。
- その理由の一つとして、日本語の先生から具体的な教育結果が全然報告されないことだ。
さらに、比較する外国人がいないために、どの程度日本語力が伸びているのかが、皆目分からないからだ。
- 6月の月報を見て、このような言語技能項目別の指導は初めて目にして驚いた。うちの日本語の先生からも是非、言語技能別の評価を定期的に出してもらいたいものだ。

(愛知県・Y施設)

うちの受験者には難しかった

「10分間テスト」！！

- うちの受験者の日本語力を観たいために、現場担当者に「10分間テスト」を実施するように手渡した。しかし、どういう訳か未だに私の手元に返ってきていない。
- 施設長(私)自身も「10分間テスト」をやってみたが、結構難しいな感じた。
絵を見ながら読解して書く力が身につけていないと、書けないと実感した。
ひょっとして、うちの受験者はこの「10分間テスト」が全然できないので、現場担当者がテスト結果を観て、私に返してこないのではないかと、ふと感じた。

(京都府・M施設)

手さぐり状態の受験対策・・・！！

- 日本語学習は終わり、最近から受験対策を中心に行っているが、始めたばかりなので職員もどの程度、受験者が理解できているのかが、分かっていない状態だ。

(長野県・S施設)

順調だが、負担が大きい・・・！！

- 受験者は幸い、順調に学習が進んでいる。
専門学校に週一回通学させていると同時に、週二回、施設の教育担当の職員をつけて施設内で指導している。1回90分の指導をしている。しかし、施設の負担が大きいので、これが今後の課題だ。(大阪府・N施設)

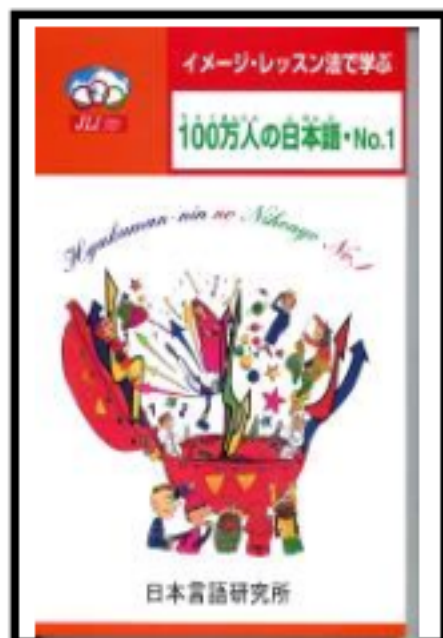
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

主教材

基礎言語能力レベル

スカイプ・教材の問い合わせ先
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

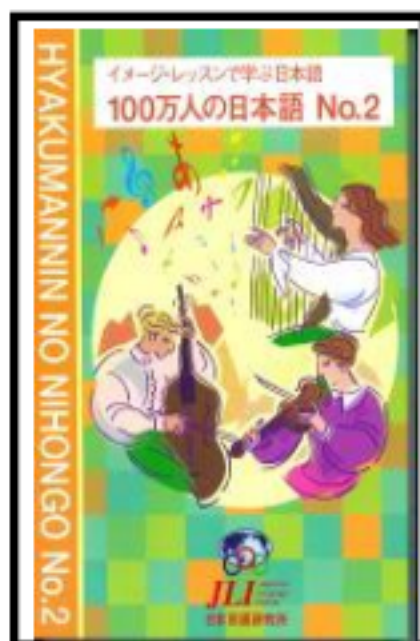


【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2,805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字

※ 習得語彙数 520 語～1560 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300 円)

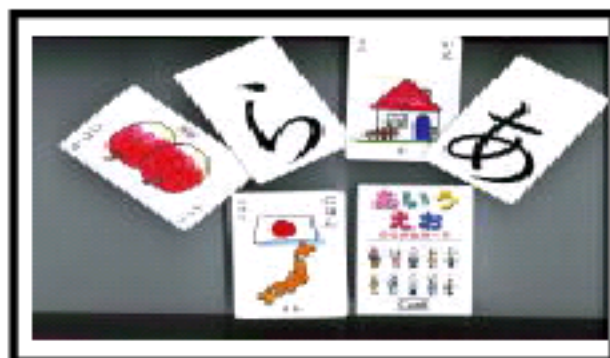
※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
副教材

基礎言語能力レベル

手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

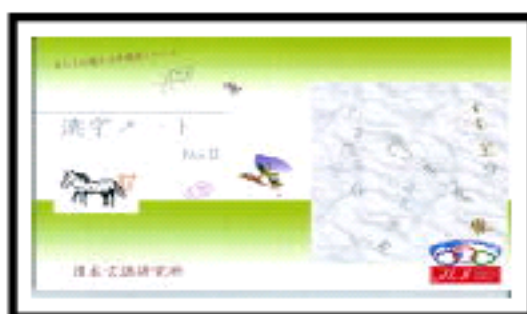
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその言出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い諸技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は、平成 24 年度国家試験で受験者数 95 名中 36 名が合格し、その 36 名中 19 名 (52.7%) がこの【到達度試験】を受けた受験者でした。 25 年度では、128 名の国家試験合格者のうち、【到達度試験】参加者は 76 名で、合格者は 68 名 (89.4%) でした。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で働く人間として必要な言語能力を養うことを重要視した学習方法です。 さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、病院や介護施設などで実践力のある要員として育成することを目的としています。 定期的試験結果を数値化し、職員に指導の仕方を考察票でお送りしておりますので、安心してご指導頂けます。 是非、ご参加下さい。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3 段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職域 言語能力を養う
2 段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1 段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F 段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活 言語能力を養う
E 段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D 段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C 段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎 言語能力を養う
B 段階 N2レベル	70 % 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A 段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		